

# END POLIOまで「あと少し！」

POLIO(小児麻痺)を学び、根絶を目指すイベント開催

中村安秀先生(日本WHO協会理事長)  
ご講演

「ポリオワクチン接種を通じて子どもと家族を守る」  
：パレスチナやアジアの現場からの学び

一般聴衆者募集 定員先着50名(無料)

日時：2024年11月4日(月曜日)

13時00分～

会場：信毎メディアガーデン

松本中央2-20-2

※駐車場は最寄りの有料駐車場をご利用下さい。

講師のご都合によりオンライン開催となる場

合がございます。

松本ロータリークラブ主催

当日ポリオプラス基金への募金活動を行いますので、  
皆様のご支援ご協力をお願い致します

Rotary

第2600地区



END  
POLIO  
NOW



私たちロータリークラブは、ポリオ根絶を最大の目標に掲げて活動している国際奉仕団体です。今回、紛争地帯におけるポリオワクチン接種が困難を極めている報道を知り、その実態やこれまで世界各地で行われてきたワクチン接種活動の現場を学ぶ機会の重要性を鑑み、世界各地でご活躍されておられる中村先生をお招きしてご講演いただくこととなりました。

開催日 : 2024年 11月4日 (月曜日) 定員 : 100名程度

会場 : 信毎メディアガーデン1階ホール 松本市中央2-20-2

参加者 : 松商学園インターアクトクラブ、海外からの留学生  
一般聴衆者、松本ロータリークラブ会員ほか

### < 講演会のプログラム内容 >

講師紹介、会長挨拶 13:00~13:05

中村安秀先生ご講演 13:05~14:05  
「ポリオワクチン接種を通じて子どもと家族を守る  
: パキスタンやアフガンの現場からの学び」

会員によるクラブ活動 14:05~14:25(予定)  
紹介

### < 講師紹介 >

中村安秀 先生 (日本WHO協会理事長・大阪大学名誉教授)



1977年東京大学医学部卒業。小児科医。

1986年から国際協力機構(JICA)専門家としてインドネシアに家族連れで赴任。90年にパキスタンでUNHCR職員としてアフガン難民医療に従事。大阪大学大学院人間科学研究科教授(2000-17年)、甲南女子大学教授(2017-20年)を経て、現在、日本WHO協会・理事長、大阪大学名誉教授。

母子手帳を海外に広めた功績により2015年に第43回医療功労賞を受賞。どこの国にいても子どもがいちばん好き。

# 公益社団法人 日本WHO協会 (Friends of WHO Japan)

## ご紹介

### 経緯：

1965年 京都で設立

2012年 公益社団法人 認定

日本WHO協会は、世界保健機関（WHO）の日本支部ではなく、WHOの理念に賛同し、WHOとの連携のもとで国内外で健康増進活動を行っている民間の法人。

### 基本方針：

世界の人びとの健康を守るため地球市民の一員として、WHOをはじめとする国際機関、政府、地方自治体、企業、団体、NPO/NGOなどと協働し、だれひとり取り残されない「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標達成をめざす。

### 活動への参加者募集中！

『目で見えるWHO』編集委員  
「関西グローバルヘルスの集い」  
医療者応援はがきプロジェクト！

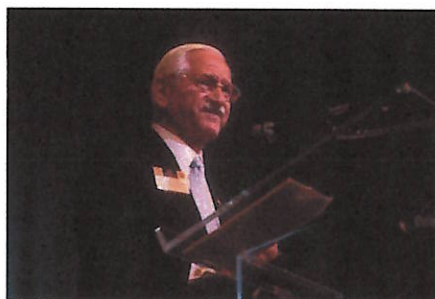


## ポリオ(小児麻痺)の歴史と国際ロータリーの関わり

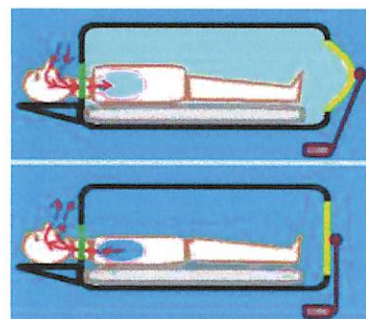
1908年	ウィーンの医師がポリオがウイルス感染による病気であることを発表する。
1916年	ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2000人以上が亡くなる。米国全土では約6000人が死亡し、数千人が麻痺障害となる。
1929年	ポリオによる麻痺で呼吸不全となった患者のために「鉄の肺」と呼ばれる人工呼吸器が発明される。
1955年	ジョナス・ソーク博士開発のワクチンが「安全で効果的であること」が認められる。
1960年	アルバート・セービン博士開発の経口ポリオワクチンが米国政府に認可される。
1978年	国際ロータリー東京大会で3-H補助金が創設され、翌年のフィリピンでの活動に繋がる。
1979年	フィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。
1985年	国際ロータリーが民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始する。
1988年	国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は125カ国で推定35万件以上。
1994年	「ポリオ撲滅認定のための世界委員会」が南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表する。
1995年	ポリオの無い国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリーが「ポリオプラスパートナー」プログラムを立ち上げる。
2000年	5億5000万人(世界の人口の10分の1近く)という記録的な数の子どもに経口ポリオワクチンが投与される。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。
2003年	ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超える。常在国の数が6カ国(アフガニスタン・エジプト・インド・ニジェール・ナイジェリア・パキスタン)となる。
2004年	アフリカの23カ国で8000万人の子どもを対象に一斉に予防接種が実施される。アフリカ大陸で最大規模の一斉ポリオ予防接種活動となる。
2006年	ポリオ常在国が4カ国(アフガニスタン・インド・ナイジェリア・パキスタン)となる。
2009年	ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルとなる。ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件にロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表する。
2011年	ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げる。ロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。
2012年	ポリオ常在国が3カ国(アフガニスタン・ナイジェリア・パキスタン)となる。
2020年	世界保健機関(WHO)によりアフリカ大陸における野生株ポリオ根絶宣言がなされる。ポリオ常在国が2カ国(アフガニスタン・パキスタン)となる。
2024年	パレスチナ・ガザ地区で25年ぶりに伝播型ワクチン由来ポリオ感染が確認される。



ジョナス・ソーク博士



アルバート・セービン博士



鉄の肺の動作原理